大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F134210109822	設置等組織名	情報工学部情報工学科
大学名	福山市立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	広島	事業計画名	学部の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-① 令和5年9月～令和5年12月 現状分析と人材ニーズを確認するため、企業・学校等へのヒアリングとアンケート調査を実施 1-② 令和5年10月～令和6年3月 基本構想策定のため、産業界等の有識者を含む基本構想検討委員会を開催	1-① 令和5年6月～令和5年12月 現状分析と人材ニーズを確認するため、企業・学校等へのヒアリングとアンケート調査を実施 1-② 令和5年10月～令和6年3月 基本構想策定のため、産業界等の有識者を含む基本構想検討委員会を開催 【改組内容】 ・令和5年度 情報工学部情報工学科について、定員を50人から80人に変更して検討中	令和5年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 国の助成金の趣旨や人口減少を踏まえた今後の本学の在り方について検討委員会で議論し、既存学部（都市経営学部）の入学定員を150人から120人に30人減らし、新学部の入学定員を50人から80人に30人増やす方向となったため。
令和6年度	1-③ 令和6年4月～令和8年3月 基本構想を具体化した教育課程や教員選考等を協議するため、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催 1-④ 令和6年6月～令和7年3月~~2月~~ 学部での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜について検討（R7.9.25承認） 1-⑤ 令和6年9月~~10月~~～令和7年9月 他機関と連携した教育体制を構築するため、福山商工会議所等とPBL演習やインターンシップ科目について協議（R7.9.25承認） 2前-① 令和7年1月~~4月~~～令和7年6月 新学部棟の建設用地の確保と地質調査の実施、地元説明会の開催（R7.2.10承認） 2前-② 令和7年2月~~4月~~～令和7年9月~~6月~~ 新学部棟の基本・実施設計の実施（R7.2.10承認） 1-⑥ 令和7年3月～令和7年12月 入学生の確保、卒業生の採用意向等に関する需要調査を実施	1-③ 令和6年4月～令和8年3月 基本構想を具体化した教育課程や教員選考等を協議するため、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催 1-④ 令和6年6月～令和7年3月 学部での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜について検討（R7.9.25承認） 1-⑤ 令和6年9月～令和7年9月 他機関と連携した教育体制を構築するため、福山商工会議所等とPBL演習やインターンシップ科目について協議（R7.9.25承認） 2前-① 令和7年1月～令和7年6月 新学部棟の建設用地の確保と地質調査の実施、地元説明会の開催（R7.2.10承認） 2前-② 令和7年2月～令和7年9月 新学部棟の基本・実施設計の実施（R7.2.10承認） 【改組内容】 ・令和6年度 情報工学部情報工学科について、定員を50人から80人に変更して検討中	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 令和5年度に策定した基本構想の具体化に向け、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催し、教育課程や教員選考等に係る協議、他機関と連携した教育体制の構築に向けた各種調整を着実に進めることができたため。 学部開設時までに新棟建設が間に合うよう、新学部棟の建設用地の確保及び地質調査の実施、新学部棟の基本設計・実施設計に前倒しで着手したため。
令和7年度	1-③ 令和6年4月～令和8年3月 基本構想を具体化した教育課程や教員選考等を協議するため、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催 1-⑤ 令和6年~~9月10月~~～令和7年9月 他機関と連携した教育体制を構築するため、福山商工会議所等とPBL演習やインターンシップ科目について協議（R7.9.25承認） 1-⑥ 令和7年3月～令和7年12月 入学生の確保、卒業生の採用意向等に関する需要調査を実施 2前-① 令和7年~~1月4月~~～令和7年6月 新学部棟の建設用地の確保と地質調査の実施、地元説明会の開催（R7.2.10承認） 2前-② 令和7年~~2月4月~~～令和7年~~9月6月~~ 新学部棟の基本・実施設計の実施（R7.2.10承認） 2前-③ 令和7年~~8月7月～令和8年3月~~ 新学部棟の建設着工（R7.2.10承認）	1-③ 令和6年4月～令和8年3月 基本構想を具体化した教育課程や教員選考等を協議するため、学部長予定者を中心とする準備委員会を開催 1-⑤ 令和6年9月～令和7年9月 他機関と連携した教育体制を構築するため、福山商工会議所等とPBL演習やインターンシップ科目について協議（R7.9.25承認） 1-⑥ 令和7年~~7月~~～令和7年~~11月~~ 入学生の確保、卒業生の採用意向等に関する需要調査を実施 2前-① 令和7年1月～令和7年6月 新学部棟の建設用地の確保と地質調査の実施、地元説明会の開催（R7.2.10承認） 2前-② 令和7年2月～令和7年~~10月~~ 新学部棟の基本・実施設計の実施（R7.2.10承認） 2前-③ 令和7年8月 新学部棟の建設着工（R7.2.10承認） 【改組内容】 ・令和7年度 情報工学部情報工学科について、定員を50人から80人に変更（R7.9.25承認） 【改組内容】 ・令和7年度 情報工学部情報工学科について、定員を50人から80人に変更（R7.9.25承認）	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	1後-① 令和8年4月～令和9年3月 PBL演習やインターンシップ科目の調整、実施のための企業との調整 1後-② 令和8年4月～令和9年3月 入学生の確保に向けた広報（オープンキャンパス、ガイダンス）、入学者選抜の実施 2-① 令和8年4月～令和9年3月 新学部棟の建設工事、外構整備 2-② 令和8年4月～令和9年3月 新学部棟の教育環境整備のための設備などの整備		令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度	3-① 令和9年4月～令和13年3月 PBL演習やインターンシップ科目の実施のための企業等との調整・実施 3-② 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、地域の初等中等学校との連携のため、出前講座や学内見学会の実施 3-③ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、女子中高生を対象とした学部説明会の実施 3-④ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、社会人・企業のリスキリングのニーズに応える公開講座の実施 3-⑤ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、海外の国際交流協定校を増やすなど留学生の受入体制の充実等を図る 3-⑥ 令和9年4月～令和13年3月 地域社会や産業界のニーズに応える学部となっているかどうか、アンケート等により効果を検証		令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度	3-① 令和9年4月～令和13年3月 PBL演習やインターンシップ科目の実施のための企業等との調整・実施 3-② 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、地域の初等中等学校との連携のため、出前講座や学内見学会の実施 3-③ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、女子中高生を対象とした学部説明会の実施 3-④ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、社会人・企業のリスキリングのニーズに応える公開講座の実施 3-⑤ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、海外の国際交流協定校を増やすなど留学生の受入体制の充実等を図る 3-⑥ 令和9年4月～令和13年3月 地域社会や産業界のニーズに応える学部となっているかどうか、アンケート等により効果を検証		令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和9年4月～令和13年3月 PBL演習やインターンシップ科目の実施のための企業等との調整・実施 3-② 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、地域の初等中等学校との連携のため、出前講座や学内見学会の実施 3-③ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、女子中高生を対象とした学部説明会の実施 3-④ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、社会人・企業のリスキリングのニーズに応える公開講座の実施 3-⑤ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、海外の国際交流協定校を増やすなど留学生の受入体制の充実等を図る 3-⑥ 令和9年4月～令和13年3月 地域社会や産業界のニーズに応える学部となっているかどうか、アンケート等により効果を検証		令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度	3-① 令和9年4月～令和13年3月 PBL演習やインターンシップ科目の実施のための企業等との調整・実施 3-② 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、地域の初等中等学校との連携のため、出前講座や学内見学会の実施 3-③ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、女子中高生を対象とした学部説明会の実施 3-④ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、社会人・企業のリスキリングのニーズに応える公開講座の実施 3-⑤ 令和9年4月～令和13年3月 多様な入学者の確保に向けて、海外の国際交流協定校を増やすなど留学生の受入体制の充実等を図る 3-⑥ 令和9年4月～令和13年3月 地域社会や産業界のニーズに応える学部となっているかどうか、アンケート等により効果を検証		令和12年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	① 令和8年4月 情報工学部情報工学科 設置届出予定（準備状況に応じて令和8年3月の設置認可申請も視野に入れて検討）	① 令和8年4月 情報工学部情報工学科 設置届出	
定員減又は 学部等の廃止	① 令和8年4月 定員減の届出（R7.9.25承認）	① 令和8年4月 定員減の届出（R7.9.25承認）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	福山市立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、既存の学部においても、企業や自治体と連携したPBL演習科目の実施等に積極的に取り組んでおり、情報通信系企業と連携したデジタル人材育成に向けた講座等の開講のほか、ビジネスアイデアを提案・評価するコンテストの実施、福山市と連携した地域課題解決プロジェクトへの参画等を行っている。新学部においても、企業や自治体との連携の下、PBL演習科目の配置により、自ら問題を発見し解決する力を育成するとともに、AI・データサイエンスを実装したビジネスプランの作成につながる授業科目や、新しい情報システムの開発につながる授業科目の配置により、地域の企業や社会のデジタル推進を支える人材を育成することを検討する。また、企業や自治体等へのインターンシップにも力を入れ、大学での学びを生かして実際の現場での課題や組織での業務に取り組むことで、学びの深化につなげる予定である。	令和5年度に取りまとめた新学部設置基本構想に基づき、新たに設置する情報工学部では、地域のデジタル化やイノベーションの創出等に資する実践的かつ専門的な教育研究活動を展開し、地域の発展・企業の成長の原動力となる理工系人材を育成することとしている。そのために、企業や地域と連携したPBL演習科目や福山市のものづくりを支える演習・実習科目を多く配置するとともに、企業や自治体へのインターンシップを必修科目とする方向とし、大学の学びを実社会で活かせる即戦力となる人材を養成する予定である。 令和7年度においては、福山市をはじめとする備後圏域内に本社又は主たる事業所を有し、情報工学部の学びを活かすことのできる製造業及び情報通信業を中心に連携依頼を行った。その結果、インターンシップ受入先として42社から承諾を得て、2年次は121人分、3年次は144人分の受入枠を確保し、入学定員80人を上回る受入体制を整備した。 引き続き、令和８年度においても、連携企業の開拓を続けるとともに、新学部設置準備委員会や連携企業・自治体との調整の中でPBL演習及びインターンシップの具体を固める予定としている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子学生の確保については、出張講義や学部説明会において女性研究者が活躍するロールモデルを提示すること等により、女子中高生への理工系の新学部の選択にもつなげる予定である。また、現在、県内外の高等学校へ行っている出前授業については、福山市内の小学校・中学校へも対象を広げ、デジタルリテラシーの向上とともに、早い段階から理工系の学問分野への興味と関心をもってもらい、将来の進路選択につなげていく。加えて、AI・データサイエンスなどの専門性やスキルの学び直しプログラムとして公開講座等の開催により、社会人・企業のリスキリングのニーズに応える中で、社会人学生の確保につなげることをめざす。さらに、海外の国際交流協定校を増やすことも検討し、留学生の受入れ体制の充実も含めて、留学生の確保についても検討する予定である。	女子学生を含む志願者の確保に向け、中四国エリアを中心とした高校238校への訪問を実施した。また、中国・四国地方の高校、過去3年間に福山市立大学への志願実績のある全国の高校並びに広島県及び岡山県の主要な学習塾各教室等、約1,000校へ新学部リーフレットを配布した。さらに、オープンキャンパスにおいて情報工学を身近に感じることのできる体験ブースを設けるなど、多様な機会を通じて各種広報活動を展開している。 地域の初等中等教育段階の学校との連携については、情報工学部の開設に向け、早期着任した教員を中心に出前授業を実施した。これにより、情報工学部と地域の初等中等教育機関との連携基盤を構築するとともに、理工系分野への興味・関心の醸成を図っている。 社会人の受入れ強化に向けた取組については、これまで実施した企業訪問等（延べ57回）で得たニーズを踏まえ、引き続き新学部設置準備委員会において、公開講座等のリカレント・リスキリングプログラムを検討する予定である。 海外の国際交流協定校については、令和7年度に新たに4校（新モンゴル日馬富士学園、延世大学統一研究院、南京暁荘学院、ケベック大学モントリオール校）と協定を締結し、留学生の受入れ体制充実に向けた検討を進めている。	

大学名	福山市立大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報工学部情報工学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定			届出	開設														
事業計画に定める定員		入学定員	人	-	-	-	-	80														
		編入学定員	人	-	-	-	-	-														
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	福山市立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	150	150	150	150															
		入学者数	人	170	153	159	160															
		女子学生数	人	79	76	80	86															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	150	150	150	150															
		入学者数(B)	人	170	153	159	160															
		女子学生数	人	79	76	80	86															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.13	1.02	1.06	1.07															
	収容定員等	収容定員(C)	人	600	600	600	600															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	657	658	661	657															
		編入学者数	人	0	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.10	1.10	1.10															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	143	145	155																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	10	24	28	21															
		授業科目の単位数	単位	42	102	119	93															

大学名	福山市立大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	250	250	250	250															
		入学者数	人	274	258	264	268															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	250	250	250	250															
		入学者数(B)	人	274	258	264	268															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.10	1.03	1.06	1.07															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1000	1000	1000	1000															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1073	1080	1080	1077															
		編入学者数	人	0	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.08	1.08	1.08															

４.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定													
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	24,800	31,404	25,327	35,299	31,442	38,497	33,609												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	29,391
本事業による助成金の額(F)	千円	420,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	39,891

特記事項

福山市立大学学則第25条において、「本学への編入学を志願するものがあるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当年次への入学を許可することができる」と規定されている。
「２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況」に記載する都市経営学部都市経営学科、「３.大学（学士課程）の状況」に記載する都市経営学部都市経営学科及び教育学部教育コース及び保育コースのR5、R6、R7、R8年度の収容定員等の編入学定員･編入学者数については、欠員がないため0人と記載をしている。